

学校だより

行方市立麻生中学校

TEL 7 2 - 0 1 2 0

Fax 7 2 - 2 3 0 5

<http://www.sopia.or.jp/asojh/toppa>

e-mail asojh@sopia.or.jp

第 9 号 平成 22 年 11 月 22 日



頑張りました！県駅伝第21位！

11月17日（水）に県駅伝大会があり、女子は参加57チーム中21位と頑張りました。当日は凍てつくような寒さでしたが、寒さに負けず健闘しました。キャプテンの茂木愛実さん（3年1組）の感想を紹介します。



私たちの県大会の目標は、25位から30位に入ることでした。しかし、選手の人たちは、その目標を超えて57校中21位という順位でゴールしてくれました。ほとんどの人が自己ベストを更新して自分の力を精一杯出し切ってくれたんだと思いました。

走った人たちの心は、一つになってたすきをつないでいて、その熱意が応援していた人たちにも伝わり、みんな心から「がんばれ！」と応援できました。

駅伝部の1，2年生は、来年も県大会に出場し、もっと活躍してくれることを期待しています。麻生中駅伝部最高！

前号に引き続き、2，3年生の生徒の文化祭の感想を掲載いたします。

2年1組 谷田 朱里

翠松祭では、午前中に合唱、午後には学級のイベントとしてバザーをやりました。

合唱では、最初に2年1組が歌うことになっていました。ステージに立つ前はとても緊張していましたが、ステージに立ち、歌い始めたら緊張しなくなりました。体を動かして大きな声で歌うことができました。歌い終わった後はすっきりして達成感が湧いてきて、「1組が優勝だ！」と思いました。残念ながら負けてしまったけど、がんばって歌うことができたのでよかったです。



午後のバザーでは、販売スタッフとして商品を並べることや会計をやるのが大変でした。でも楽しかったです。とてもいい翠松祭でした。



2年2組 坂本 恵梨

昨年優勝できなかった悔しさから今年こそ優勝（金賞）という思いが強かった合唱。1組のまとまりや上手さに敗北感を感じることがありました。男子が動かず、口も開けずで、毎日、女子からの厳しい声が飛びました。しかし、本番が近づくと、みんな気持ちが入ってくるようになりました。最後には男子のやる気と上手さが「金賞」につながったと思います。結果以上のものが得られたという気持ちに

なり、私たちはやればできるんだという自信をもつことができました。

イベントでは、話し合いを何回もして、やっと決めたお化け屋敷。だからこそ、気合いも入り一生懸命取り組みました。スタート10秒前くらいにやっとすべての役が決まり、慌ただしくもあったけれど、来場者300人突破！笑い声と叫び声がこだまし、よい思い出になりました。多くの支援と協力があってこそこの成功だと思います。この恩を違う形で返していけたらよいなと思っています。

3年1組 千ヶ崎 奈々

私は、この3年間で最後の翠松祭は、とてもすばらしいものになったと思います。午前中の合唱祭では、クラスの全員が一つになれたと思います。最初の練習の時は男子も女子もまとまっておらず、合わせて歌っても大きな声が出なかったり、他のパートにつられてしまったりして、とてもグランプリを取れる状態ではありませんでした。

でも古山先生のアドバイスや3年生の先生からの励ましで一段とやる気が出てどんどん良いものになっていきました。本番では、全員がグランプリを取りたいという思いが一つになり、実際に金賞とグランプリがとれました。気持ちが一つにならなかつたらこんなに上達しなかつたし、2組がいなかったら中途半端な気持ちで終わっていたと思います。午後のイベントでは、男子達がたくさん練習していたダンスと女子がコーディネートした服でのファッションショーが1番盛り上がったと思います。本番までにみんな真剣に考えて一生懸命踊る練習をしていたので、お客さんが笑って盛り上がっていたので、とても楽しくて達成感がありました。やって良かったと思います。最後の翠松祭は、楽しく感動的な1番思い出になる行事になりました。みんなが「魂」を精一杯込められたので、良かったです。3年生はこれから受験に力を入れるところですが、この翠松祭で学んだ協力することや頑張ることを忘れずに受験に励みたいと思います。



3年2組 川嶋 美奈代

あっという間に終わってしまった翠松祭だったのですが、3年間やってきて一番充実していた翠松祭でした。みんなの個性豊かな性格が引き出されていた芸1グランプリ。個々では、みんなの新たな一面を見られたのが一番の魅力でした。受験生ということもあり、月にテストが何度かある中、みんな当日のために頑張って練習や準備に取り組んでできました。合唱がメインである翠松祭。2年前まで歌がとても下手だった私たち。あの時は、ただ単に歌詞を覚え、ただ単に歌を歌っていました。2クラスしかないのに、勝ち負けがはっきりしてしまいます。今までもそうでしたが、今年は違ったことがあります。それは、「3年生」というプレッシャーでした。先輩方は毎年感動を残してくれています。私達は歌があまり上手ではありません。初めはまったくまとまりがなく、練習していてもすぐに違ったことをやり始めたり、関係のない話ばかりしてしまいました。メリハリがないときは、いつも学級委員が「静かにして」と言っていました。言われなくてもいつでも歌えるような姿勢でいれば良かったなあと思います。

本番当日。私達3年2組は金賞もグランプリも取ることができませんでした。結果としては1組に負けてしまいましたが、ここで得たものはとても大きなものです。笑い合い、一瞬の時間を大切な仲間と過ごし、一生忘れることがない思い出となりました。大切な事は歌は「真心」です。11月3日。みんながとても輝いていた1日でした。